

水素－三重水素反応の熱核融合炉では、三重水素の固体壁内での吸蔵特性解明とその制御が課題の一つです。吸蔵粒子は固体内部欠陥への捕捉粒子と内部を自由に動き回る粒子の2種類に分けられます。補足粒子は固体内部に留まるため静的な挙動です。一方で、固体へのプラズマ照射下では内部を動き回る粒子が多く存在しますが、この粒子は照射を停止すると固体外へと放出されるため、動的なアプローチが不可欠です。現在、タングステン材料への重水素プラズマ照射下でのその場測定による動的吸蔵量実験と、シミュレーションコードを用いたタングステン内での重水素の動的挙動解析について研究を行っています。まだまだ多くの事を学ぶ必要がありますが、よろしくお願い申し上げます。

■ 4. 事務局だより

クロード・ヘレル・ルーアサン駐日メキシコ合衆国大使が2月18日、本研究所の電子顕微鏡施設を訪問されました。

大使は見学に先立って、施設長の丹司教授から施設の概要について説明を受け、熱心に耳を傾けておられました。

■ 5. 事務局からのお知らせ

●メール通信（無料）の配信について

本メール通信は、学内関係者や研究所の行事に参加された方に、年4回程度の予定で、お送りしております。配信停止または配信先メールアドレス変更をご希望の際は、お手数ですが、下記事務局までご連絡ください。

#####

名古屋大学 エコトピア科学研究所事務部

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

TEL : 052-747-6758 FAX : 052-747-6313

Email : eco-maga@esi.nagoya-u.ac.jp

URL : <http://www.esi.nagoya-u.ac.jp>

#####